

市長定例記者会見事項書

と き 平成23年12月9日(金) 8時45分～
ところ 庁議室（市本庁舎4階）

○獣害対策の現状と新たな取組の方向性について

○津うキャラ情報発信事業について

○管鎗の盗難に係る自治会への補助金交付について

定例記者会見 平成23年12月9日（金）8時45分～	
場 所 庁 議 室	
事 務 担 当 課	
所 属	職・氏 名
農林水産部農林水産政策課 （電話229－3172）	農林水産政策課長 来島 孝泰

獣害対策の現状と新たな取組の方向性について

津市では、中山間地域を中心に、シカ、サル、イノシシによる被害が問題となっています。

さらに、最近では、さる11月23日に雲出長常町において市民がイノシシに襲われ、負傷するなど被害が深刻化しています。

このため、津市における野生鳥獣による被害の現状、現在の取組状況、課題とこれを踏まえた新たな取組の方向性を取りまとめました。

記

1 獣害対策協議会の連携強化

市内の7つの獣害対策協議会を構成員とする広域獣害対策連絡協議会を早期に立ち上げ、この協議会が取り組む合同研修会や一斉追い払いなどの広域連携活動の支援。

2 先進的獣害対策の導入推進

モデル地域を選定し、獣が住みにくい環境づくりのための「大規模緩衝帯」やシカの一斉捕獲に効果のある「ドロップ・ネット」などの先進的な獣害対策技術の実証実験を実施。

3 イノシシの捕獲数の増加

イノシシの捕獲数の増加を図るため、これまでは定額で補助してきたイノシシの捕獲について、サルやシカと同様に捕獲単価を設定し、個体数の調整を進める。

4 平成23年度の予算額

当初予算額 3, 513万5千円

12月補正計上額 1, 150万円



分部赤坂地区でのダイコンの食害



片田地区獣害対策協議会の防護柵設置の様子

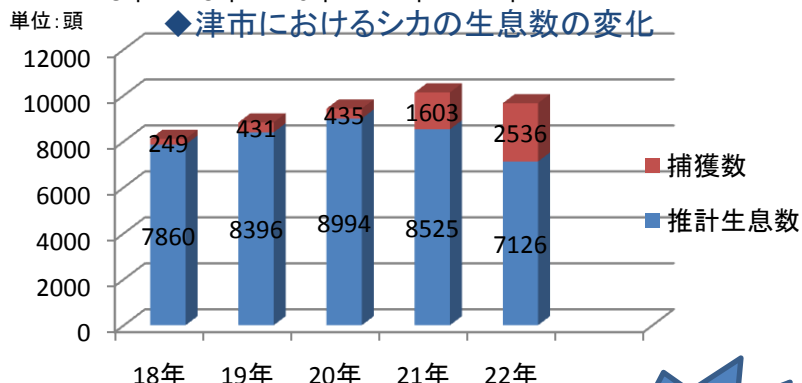
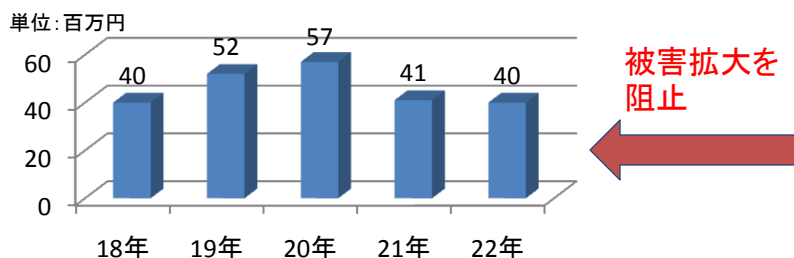
獣害対策の現状と新たな取組の方向性

被害の現状

○中山間地域を中心に、シカ、サル、イノシシによる被害が深刻

22年度 被害面積104ha、被害金額4000万円

◆津市における野生鳥獣被害金額の推移



最近市街地でもイノシシやサルが出没、人的被害も発生

収穫間際の被害により生産意欲が大きく低下

耕作放棄地の発生も



取組状況

○津市では、深刻化する野生鳥獣の被害に対処するため、
①猟友会による個体数の調整、②防護柵の設置、③獣害対策協議会が行う地域ぐるみの取組を推進

個体数の調整

○猟友会への委託により、野生鳥獣の駆除を推進

- ・21年度に駆除委託料を改定し、捕獲数がアップ
- ・22年度はシカ2536、イノシシ315、サル131頭を駆除
- ・猟友会の高齢化に対処し、わな猟免許取得を支援



片田地区

防護柵の設置

○農作物を野生鳥獣から守るため、防護柵の設置を支援

19年度から22年度までの4年間で延長205kmの防護柵を設置



美里地区

地域ぐるみの取組

○地域ぐるみで獣害対策に取り組む7地域(片田、八幡、赤坂、穴倉、桂畑、上ノ村、上稲葉)の獣害対策協議会の活動を支援

〔事例〕 片田地区獣害対策協議会

11の自治会と猟友会、駐在所、JA、消防団、小学校が参加し、集落座談会や集落内点検、緩衝帯の設置、夜間のサルの追い払い等多様な活動を展開



片田地区協議会

課題

- 獣害対策により、被害の拡大は防がれているが、生産意欲の低下や耕作放棄地の拡大、市街地でのサル、イノシシの出没など**被害が深刻化**

中断すると被害が急速に拡大することが懸念

新たな取組の方向性

- 引き続き、①猟友会への委託による**個体数の調整**、②**防護柵の設置**、③獣害対策協議会が行う**地域ぐるみの取組**を推進

新たな課題



- 市内の7つの地域に獣害対策協議会が設置されているが、設立後間もない協議会もあり、これらの技術力や活動力を高める必要
- 23年10月 獣害対策協議会が中心となり、連携強化のための「広域獣害対策連絡協議会」(仮称)の設立に向け準備会が発足

- 獣害対策を効果的に進めていくためには、先進地域で試みられている新たな獣害対策の地域の実情に即した導入・普及が必要
- 先進的獣害対策については、負担が大きく、地域での導入が困難

- イノシシについては、依然として、被害金額が増加

21年度11百万円 → 22年度17百万円

- イノシシの捕獲を増加するには、猟友会の更なる協力が必要

新たな取組



獣害対策協議会の連携強化

- 新たに設置される「広域獣害対策連絡協議会」(仮称)が取り組む、合同研修会の開催や一斉追い払い、防護柵の相互点検の実施等の広域連携活動を支援・推進

先進的獣害対策の導入推進

- モデル地区を選定し、獣が住みにくい環境作りのための「大規模緩衝帯」やシカの一斉捕獲に効果のある「ドロップ・ネット」等の先進的獣害対策(技術)の実証実験を実施



大規模緩衝帯

イノシシの捕獲数の増加

- イノシシの捕獲数の増加を図るため、これまで定額で補助してきたイノシシの捕獲について、サルやシカと同様に捕獲単価を設定し、個体数調整を促進

定例記者会見 平成23年12月9日（金）8時45分～	
場 所 庁 議 室	
事 務 担 当 課	
所 属	職・氏 名
商工観光部観光振興課 (電話229-3170)	シティプロモーション担当副参事 岸田 慶仁

津うキャラ情報発信事業について

近年、地域の活性化には欠かせない存在といわれますご当地キャラクターですが、津市内でもシロモチくん、ゴーちゃん、ツヨインジャーをはじめとするキャラクター『津うキャラ』たちが活動しております。

そこで、津市内で活躍する『津うキャラ』たちを活用し、津市の情報発信事業を下記のとおり展開します。

記

1 目的

ご当地キャラクター『津うキャラ』と津ファンとの緩やかなコミュニケーション関係を活用した情報発信を通じて、「津市の楽しさ」を広め「津に住んで（来て）よかった」という満足度を高めます。

2 内容

(1) 情報発信

キャラクターによる積極的なPR活動

(2) コミュニケーション

イベント出演や、ブログ、ツイッターなどを活用したコミュニケーションによる津ファンづくり

(3) 地域愛、住民参加

ア 学校、幼稚園、保育園の訪問による啓発活動により次世代の地域への関心を高める

イ 津うキャラサポーター募集により、楽しく住民参加を促す

3 事業イメージ

別紙のとおり

4 市内のキャラクター（全12種）



①シロモチくん



②みずぎん



③アンちゃん和ノンちゃん



④カームちゃん（河夢ちゃん）



⑤ゴーちゃん



⑥ツッキー



⑦しん坊くん



⑧藤堂とらまる



⑨ゴーニャン



⑩津に来て戦隊ツヨインジャー



⑪龍王ちゃん



⑫つつみん

※他にも企業PRキャラとして・・・

ベイちゃん（おやつカンパニー）、怪傑ゼット（ZTV）、エムっとくん（三重テレビ）、
みえ〜るくん（NHK津放送局）、イノさん&クラちゃん（猪ノ倉温泉）など



津うキャラ情報発信事業

津市を中心に日ごろがんばって活動する「津うキャラ」たちが、

津市の楽しさをどんどん発信（津うS向上活動）しちゃいます！

※津うキャラ→津市を中心に活躍するゆるキャラや、ローカルヒーロー（12キャラ以上）

※津うS→津に住む人、津に来た人の満足度、CS（customer satisfaction）と同じように、津に住む人、津に来た人の満足度をあげ、地域愛、知名度を高めることを目的にした活動を行う。



PR力の向上

（積極的なPR活動）

全国各地へのキャンペーン
HP、パンフ
グッズの商品開発 など

情報発信

生きる力の向上

（地域愛・住民参加）

学校・園訪問
サポーター募集 など

津うS 向上活動

コミュニケーション

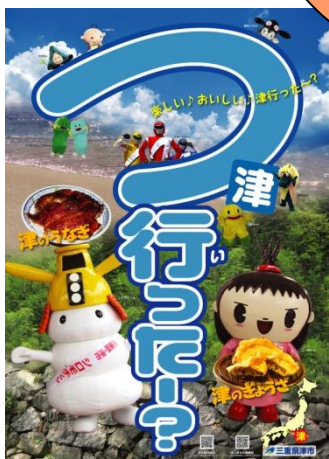
地域愛



ふれあい力の向上

（津ファンづくり）

イベント出演
キャラクターイベント開催
ブログ・ツイッター
Facebook ページの活用 など



定例記者会見 平成23年12月9日（金）8時45分～	
場 所 庁 議 室	
事 務 担 当 課	
所 属	職・氏 名
危機管理部 防災室 (電話229-3104)	防災室長 岩 中 聡

管鎗の盗難に係る自治会への補助金交付について

街頭に設置されている消火栓ボックス内の管鎗が、平成23年9月頃から市内各地で盗まれるという被害が発生しています。

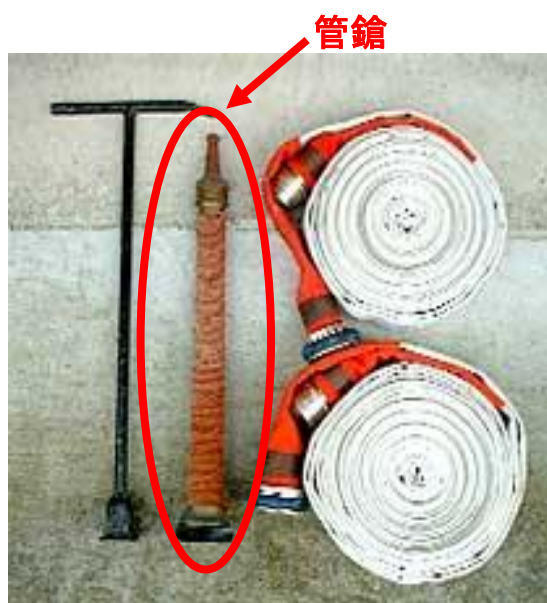
このことから、自治会及び自主防災会に対し、文書、電話、自治会役員会議等で被害拡大防止に向けた注意喚起を行うとともに、盗難被害に遭った自治会が管鎗を整備するにあたり、下記のとおり補助金を交付します。

記

- 1 補助対象者
自主防災会を組織する自治会
- 2 補助対象経費
盗難被害により平成23年度中に購入する（した）管鎗（ノズル含む）
- 3 補助金の額
購入費用の1／2の額（100円未満切捨）
- 4 参考（イメージ写真）



消火栓ボックス



ボックスの中身（管鎗ほか）